

埼玉県本庄市 校務DX計画

1. 指導者用端末の整備について

本市ではGIGA第1期の学習用端末使用開始時より教職員も児童生徒と同じ機種を使用しているほか、必要に応じて校務用端末を教室に持ち込み、授業等で活用しています。令和8年3月の校務用端末の更新の際は、タッチパネル対応で持ち運びに適した端末を整備する予定で、校務と授業を1台で行えるようにします。

2. ネットワーク環境について

令和7年度の校務用システムの更新に併せ、ゼロトラストの考えに基づくセキュリティ対策を導入し、教職員が校務を行うための校務系ネットワークと児童生徒が主に授業等で使用する学習系ネットワークを1つに統合する予定です。

また、校務支援システムをクラウド化し、校務用端末があれば職員室以外でも校務が行える環境を整えることで、高度なセキュリティとロケーションフリー環境の実現を両立します。

3. 校務のデジタル化について

本市では、校務支援システム内のグループウェア機能により、行事予定や欠席者情報を自席の校務用端末で確認できるようになっています。

また、校長専用、教頭専用及び学校代表の計3つのメールアドレスを各学校に付与し、教職員は学校間、教育委員会等と電子での連絡が可能になっております。引き続きFAXの原則廃止を進めていきます。

今後の校務支援システム更新では、保護者が児童生徒の欠席情報を入力することで教職員が手入力することなく校務支援システムに反映できる機能を導入する等、校務の効率化を進めていきます。

4. ペーパーレス化について

本市では、全学校及び各学校共有ドライブを活用してマニュアルや会議資料等のデータ共有や、教育委員会への提出書類をメールでデータにより提出する等、ペーパーレス化を推進しています。

また、学校から保護者への連絡についても専用のアプリにより、学校だより等のお知らせを電子ファイルで配布し、保護者が所有するスマートフォンで即時に確認できるようになっています。

今後も、学校文書のペーパーレス化を一層推進するため、クラウドツールの活用による効率化等、望ましい校務の在り方に関する検討を進められるよう調査研究を行っていきます。